

いしみね救護園作業棟

施設概要

所在地：那覇市首里石嶺町
工期：平成21年3月～平成21年8月
構造・階数：鉄筋コンクリート造 平屋建
敷地面積：4,187m²
延べ面積：228.01m²



計画概要

いしみね救護園の改築工事は、那覇市道の拡張にかかる施設建替事業であり、平成20年に既設建物を解体、平成21年8月に建物新設、その後道路工事が開始される予定になっている。

施設利用を円滑にするためバリアフリーに配慮し、間仕切を無くした空間にすることで多目的に使用しやすい作業スペースを確保する計画としている。



外観



内観

県民の森リフレッシュ施設

施設概要

所在地：恩納村字安富祖
工期：平成21年12月～平成22年3月
構造・階数：鉄筋コンクリート造 平屋建
敷地面積：181ha
延べ面積：22.44m²

計画概要

当該施設は、県民の森の施設利用者から設置要望のあったシャワー施設等を提供することを目的としている。設計コンセプトとして、利用者の多様性に応じるため、特にバリアフリーに配慮した建物としている。



外観



外観



内観

4. 観光商工部

沖縄IT津梁パーク・中核機能支援施設A棟

施設概要

所在地：うるま市字州崎
工期：平成20年9月～平成21年5月
構造・階数：鉄筋コンクリート造 2階建
敷地面積：10,000m²
延べ面積：3,054.01m²

計画概要

沖縄IT津梁パークは、うるま市字州崎の特別自由貿易地域に位置し、国内外の情報通信関連産業的一大拠点の形成を目的としている。沖縄IT津梁パークの「津梁」には、日本とアジアを結ぶ架け橋として、ソフト開発、IT人材の育成・交流の面で、アジアとのブリッジ機能を積極的に担っていく意味が込められている。

中核機能支援施設は、沖縄IT津梁パークのフラッグシップ（旗艦）施設であり、「リゾート&IT」を基本コンセプトに、沖縄ならではの優れたリゾート環境のもとで、IT分野の知的創造活動を行える施設づくりを設計主旨としている。



外観



エントランスホール



管理事務所内部



池淵の亜熱帯性観葉植物

5. 土木建築部

(1) 名護中央公園天上展望台

施設概要

所在地：名護市字名護
工期：平成21年12月～平成22年3月
構造・階数：鉄筋コンクリート造 3階建
敷地面積：71ha
延べ面積：28.11m²（店舗部分）

計画概要

当該施設は名護岳の頂上付近に建つ展望台で、名護市街地や名護湾（東シナ海）を望むことができ、毎年1月中旬の桜祭りには県内外からの多くの花見客で賑わうところである。

展望台の手摺の劣化・老朽化により改修工事が必要となったことから、それと合わせて軽食などが提供できる店舗を設置することになった。

設計主旨は、訪れる客により親しまれ、散策・花見・レクレーション等の憩いの場として利用できるように、安全にも十分配慮した計画としている。



展望台外観



1階店舗入口



2, 3階展望テラス

(2) 豊見城団地県改良住宅（第4期）

施設概要

所 在 地：豊見城市平良
 工 期：平成20年7月～平成21年5月（第4期）
 構造・階数：鉄筋コンクリート造 5階建
 敷 地 面 積：5,132m²
 延 ベ 面 積：3,734.36m²

計画概要

沖縄県と豊見城市を事業主体とした豊見城団地住宅地区改良事業では、施設の劣化・老朽化に伴う建て替えを順次進めており、県改良住宅建設工事は今回で第4期工事になり、K棟（1棟5階建て58戸）が完了した。
 これからの高齢化社会に対応したユニバーサルデザインを心掛け、人に優しい住環境・よりよいコミュニティー空間づくりを目指し、社会のニーズに合わせて住戸タイプのバリエーションを4タイプとした。
 今後は緑を生かした周辺環境整備（公園等）の計画が進められる予定である。



外観



内観



全体完成図

(1) 名護商工高校管理棟

施設概要

所 在 地：名護市大北
 工 期：平成21年3月～平成21年11月
 構造・階数：鉄筋コンクリート造 2階建
 敷 地 面 積：64,821m²
 延 ベ 面 積：1,698.25m²

計画概要

名護商工高校は、「沖縄県立高等学校編成整備計画」に基づく平成19年の県立名護商業高校と県立北部工業高校との再編統合により誕生した。このため、生徒数、教員数が増加し、現施設が手狭になったことと、現在の管理棟の劣化・老朽化による改築の必要性から、管理棟の建替えを行った。



外観



外観



渡り廊下

(2) 名護商工高校水泳プール

施設概要

所 在 地：名護市大北
 工 期：平成21年12月～平成22年3月
 構造・階数：壁式鉄筋コンクリート造 平屋建
 敷 地 面 積：64,821m²
 延 ペ 面 積：164.91m² (水面積：400m²)

計画概要

既存の水泳プールは、昭和51年に建設されてから30年余り経過しており、老朽化による危険度の解消の為に改築工事を行った。

設計のコンセプトとしては、屋内運動場に隣接して、生徒達の動線・運動場の土ホコリ・外部からの侵入防止・近隣施設からの目隠し対策などを講じ、施設利用者の意見を積極的に取り入れた計画とした。



北側外観



プール本体



更衣室

(3) 具志川商業高校屋内運動場及び武道場

施設概要

所 在 地：うるま市みどり町
 工 期：平成21年3月～平成22年1月
 構造・階数：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2階建
 敷 地 面 積：55,346m²
 延 ペ 面 積：2,758.56m²

計画概要

当該施設は校舎から始まった全面改築の最後の施設である。

コンセプト：尊敬、友情そして夢の実現、緑豊かな活気溢れる学舎

- ・改築後の校舎とエキスパンション、ジョイントで接続し導線を明確にした。
- ・運動場に隣接し、管理のしやすさと使いやすさを考慮した。
- ・建物内はバリアフリーとし、施設内全体を容易に移動出来るよう計画した。
- ・敷地内にある多数の樹木を残し、緑を生かす計画とした。



外観



内観

(4) コザ高校校舎

施設概要

所 在 地：沖縄市照屋
 工 期：平成21年3月～平成22年3月
 構造・階数：鉄筋コンクリート造 4階建
 敷 地 面 積：51,582.00m²
 延 べ 面 積：5,712.54m²

計画概要

本校舎は普通教室を南面に配置、特別教室・芸術教室棟を南北方向2列に配置し、中庭（ギャラリー）を中心とした回遊型でコンパクトにまとめた計画としている。
 内回廊により各教室間の移動をより快適にし、導線の無駄を省いた。正門から昇降口、中庭を通り抜けて普通教室棟1階ピロティから運動場へと主導線（軸線）が通る計画とし、建物導線をスムーズにした。
 敷地の高低差については、擁壁を兼ねた多目的ピロティを設ける事で利便性も考慮している。
 また、外周ルーバーによる遮光効果、水蓄熱システムの採用で深夜電力の業務用蓄熱契約利用によるデマンド（空調機削弱）等省エネ対策でコスト面の削減を図った。
 さらに段差の解消、E.V.・多目的トイレの設置、視覚障害者用誘導床材、点字案内板等バリアフリーにも配慮した施設づくりを行っている。



全体完成図



普通教室



音楽教室



南側外観



中庭

(5) 宮古高校普通教室棟

施設概要

所 在 地：宮古島市平良字西里
 工 期：平成21年3月～平成22年1月
 構造・階数：鉄筋コンクリート造 3階建
 敷 地 面 積：19,677m²
 延 べ 面 積：1,425.36m²

計画概要

当施設は、前年度の管理棟から引き続き改築工事が行われている。
 管理棟同様、年次的な改築を見据えつつ、既存の建物の機能を十分に発揮できる様な配置計画とした。
 また、既設の建物とのアクセスがスムーズとなる配置とし、外構及び建物内共に新たにバリアフリーの利用円滑化経路を設け、多様な利用者に対応できるものとした。



西側外観



東側外観



南側外観



北側外観



内観



内観

(6) 泡瀬特別支援学校校舎

施設概要

所在地：沖縄市比屋根
 工期：平成21年8月～平成22年2月
 構造・階数：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造（屋外渡り廊下）3階建
 敷地面積：10,843m²
 延べ面積：486.30m²

計画概要

泡瀬特別支援学校増築工事は、現在の児童・生徒数に対応した学校施設及び設備の充実を目的としている。

平面計画は、昇降口と階段室を既存小学部棟側に配置し、正門からの車路側をピロティーとすることによりスクールバス及び送迎車の専用通路として確保しており、人と車の動線を考慮した計画にしている。

2階、3階に3教室と男子・女子便所、シャワー室を配置し、屋内廊下から既存小学部棟及び高等部棟側に屋外渡り廊下を設け、既存建物内のエレベーターを利用して車椅子使用者が各棟へ行き来できるよう動線を確保した。



外観



教室1



教室2



トイレ



浴室等

(7) 大平特別支援学校校舎

施設概要

所在地：浦添市大平
 工期：平成21年8月～平成22年2月
 構造・階数：鉄筋コンクリート造 2階建
 敷地面積：26,444m²
 延べ面積：604.00m²

計画概要

本施設は学生増員・需要に対応した高等部用の8教室の増築である。

当該校舎は運動場・農場実習地に面した建築物で、1階エントランス部分は東西両方からの出入りを可能としており、利用者に対し最短の動線を確保している。

また、既存校舎にはなかった多目的トイレを設置し、車椅子使用者の利用も可能にした。

外観は既存校舎とデザイン連続性を持たせるため、同じ色使いとしている。



外観



内観